

## 負担増で節約限界 今や国内有事

無職

(大阪府 75)

テレビの番組が、全国旅行支援を使った温泉旅行や食レポを頻繁に伝えている。合間にはグルメのCM。コロナ禍以前はこれらを参考に外食や小旅行などのプチせいたくを妻と楽しんでいたが、今は全くできなくなった。誘惑を断つため、グルメや旅の情報は見ないようにしている。

昨年から急激に進んだ物価高で、年金暮らしの我が家は深刻な打撃を受けている。1円たりともおろそかにできず、これ以上削れないほど節約する毎日だ。時々の楽しみだった喫茶店にも行けず、孫に小遣いや

お年玉をあげられなくなった。

ニュースは連日、深刻な話題ばかりだ。医療費の窓口負担が増え、健康保険料や介護保険料も値上げ。極めつきは防衛費増額のために増税するという。政府は簡単に数兆円もの予算を積み上げ、国民に負担増を強いてくる。庶民の最低限の生活を守るため、数円、数十円の節約を重ねているのが、ばかばかしく思える。

国民を守るための防衛費が国民を脅かす施策になっていないか。増額の前に外交努力を尽くしてほしい。日本は借金まみれの中、少子化などの問題が山積している。まず、この「国内有事」に対応してほしい。